

事業名	オリジナル住民ミュージカル「黄色い袋と魔法のトンネル」	
団体名	みの～れ住民劇団「演劇ファミリーMy u」(小美玉市)	
連携・協働団体	小美玉市、四季文化館企画実行委員会、みの～れ支援隊、市内外企業	
事業のねらい	演劇は、様々な人たちによるコラボレーションで一つの舞台作品が成立している「総合芸術」と言われており、その特性を活かして、親子間のみならず、世代間における相互理解を深める機会とする。また、親子のコミュニケーションの機会、子育て中の方々のコミュニティ作りの機会にもできる。さらに、舞台美術製作、衣装製作も同時に体験することで、創造性を育み、達成感や充実感を味わえる感動体験会としたい。 <重点目標> ① 人任せにせず、自ら進んで行動する人材を育成する。 ② 人間性を育む、人格を育てる。	
活動の内容	1 参加者募集及び基礎稽古無料体験会等の実施 2 稽古(15回)、舞台稽古(通し稽古) 3 舞台美術制作体験会 保護者、出演者本人等が小道具や衣装の製作を行った。 4 アンサンブルワークショップ 出演者対象のワークショップ。一部のシーンに出演。 5 舞台美術等の建て込み等 中学生以上の親子が協力して行った。 6 テクニカル稽古 小学生から大人まで公演を支えるスタッフ等を勤めた。 7 ゲネプロ(メイク、衣装、セット、音響照明など、本番同様の舞台稽古) 8 本公演(10月5日) 約1時間の公演(来場者560名)	
効果及び自己評価	アンケート結果を見ると「子どもも集中して見ることができる分かりやすい内容であった」「大人も子どもも一生懸命さが良く伝わった」等の声が多く寄せられ、好評であったことが分かった。本作品のテーマである「誰にでもいる身近なヒーローの存在＝大人の背中」を感じられるものとなり、子どもたちは大人を見つめる目が変わり、大人もまた、自らを見つめるいい機会となった。 本作品の制作目標(重点目標)についても、稽古前のウォーミングアップ等を指示がなくてもキャスト自身が始められるようになり、稽古準備等も自ら進んで行う者も多く見られるようになったことから、目標は達成できたと感じている。 協力者については、地元の編み物教室等に衣装製作の協力をいただき、親子と一緒に一生懸命作る姿がみられるなど、大きな効果があった。 今回の作品は、地元の池を舞台にしていることもあって、事前の現地見学等を実施し、郷土愛を育むいい機会となった。	
問い合わせ先	みの～れ住民劇団「演劇ファミリーMy u」 〒319-0132 小美玉市部室 1069 (小美玉市四季文化館みの～れ内) 電話 0299-48-4466	
活動の様子	 	